

特別セミナー「スポーツメディアを考える。」

「最先端の野球③ スポーツメディアにおける科学データの活用」

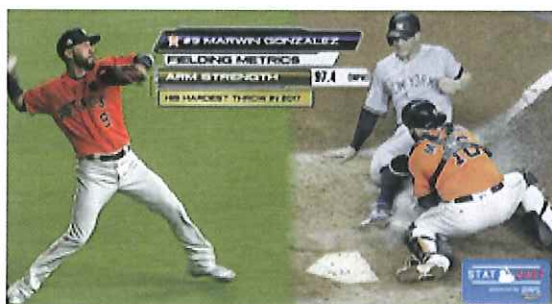
～スポーツを伝える現場とサイエンスの関係を考える～

2017年12月4日(月) 16:00～18:00 新宿ミライナタワー12階

世界的な流れとして、スポーツメディアによる楽しみは単に映像を見るだけでなく、データを利用してより深くスポーツを理解するところに向かっています。そのためには、データの持つ意味を視聴者は理解をする必要があります。そして、データへの理解が深まれば、楽しみ方の幅が広がり、スポーツを文化としてより深く根付かせることが出来るはずで、その意味で、メディアと現場、科学者・研究者(サイエンティスト)の連携は重要です。しかし、日本の現状は残念ながら十分とは言えない状況です。

そこで今回、Statcast(スタットキャスト)という2015年シーズンから運用開始したMLBのデータプレゼンテーションシステムの開発元の技術責任者であるBAMTECH(MLBAM)のCTO/ Joe Inzerillo氏をお招きすることになりました。そして、Statcastでのサイエンスとメディアの関係を伺いながら、現在日本でサイエンス、メディアの最前線に立つ方々に、その現状や課題を論じて頂きます。

科学技術の発展により、これまで見えなかったものが見えてしまう時代に突入しました。スポーツの面白さをより詳しくより深く伝え、スポーツをいかに活性化するか。それぞれの立場で課題解決を考えるきっかけの場になり、この場にいらっしゃる全ての方々の相互理解が深まる機会になることを期待します。



<特別セミナー「スポーツを伝える。」概要>

① 基調講演

「MLBにおけるサイエンスの活用事例」

Joe Inzerillo氏(BAMTECH)

② パネルディスカッション 「スポーツを伝える現場とサイエンスの関係を考える」

Joe Inzerillo氏(BAMTECH)・宮地力氏(NPOスマートコンソーシアム)

山田岳史氏(NHKデジタルコンテンツセンター)

西田裕基(ワイズ・スポーツ株式会社)・松尾知之氏(大阪大学)

神事 努氏(國學院大学・株式会社ネクストベース)



Joe Inzerillo氏プロフィール

BAMTECH CTO/Executive VP

MLB Advanced Media Special Advisor

Joe氏は1987年にホワイトソックスでスポーツビジネスのキャリアが始まりました。1994年からユナイテッドセンター(シカゴブルズ・ブラックホークスの本拠地)のCTOを務めた後、MLB主要のメディア企業であるMLBAMのCTOに就任。iPadでストリーミングされるライブスポーツのインスタントリプレイの技術を担当していました。また、MLB.TVでは革新的なプレーヤー追跡システムを構築し、あらゆるプレーを測定することに成功しました。

現在は、ビデオストリーミング会社であるBAMTECH社の、技術部門すべてを監督しています。BAMTECH社のハイテクサービスは、MLBAM、ナショナルホッケーリーグなどが利用しています。

主 催: NPOスマートコンソーシアム, 株式会社ネクストベース
協 力: 日本野球科学研究会, (一般)日本スポーツアナリスト協会
特 別 協 賛: 日本コカ・コーラ株式会社